

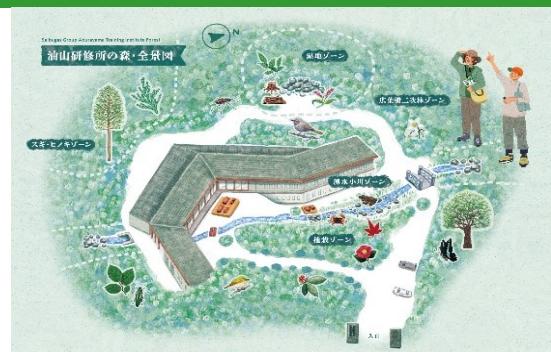
「西部ガスグループ油山研修所の森」保全活動



西部ガスグループ

活動の場所

福岡県福岡市城南区東油山
「西部ガスグループ油山研修所」



活動目的

西部ガスグループ従業員の環境教育、自然との共生を共感、変革意識を持った人財育成の場として、また、地域の生物多様性の保全・つながりの場（エンゲージメント）として貢献することを目的としています。

活動内容

敷地を5つのゾーンに分けてモニタリングしています。中央に小川が流れ、小川を挟んで西側に「二次林広葉樹ゾーン」があり、近隣の森林と連続したエリアとなっています。他大半の区域が常緑広葉の二次林であり、その一部にある「湿地ゾーン」では湿地特有の草本「タデの仲間」を観測。南側には一部「スギ・ヒノキゾーン」があり、東に位置する「植栽ゾーン」では、四季による変化がある植栽を配置しています。年に2回（春・秋）に動植物種の調査・観察会を行い、2025年11月現在199種が確認されました。

▼親子観察会の様子



PRしたいポイント

本研修所は、福岡市の南部に広がる油山のふもとに位置し、市街地から車で約30分の場所にありながら、豊かな里地里山の環境が形成されています。2022年の建替え時に、豊かな自然環境と調和しながら、持続可能な社会の実現を目指して設計・建設しました。インフラを支える企業グループの人財育成の拠点として、グループ各社の横断的な研修を行っています。

活動効果、今後の展開 等

- グループ従業員と家族向けの観察会などの体験型学習を充実させ、環境保全を自分事化として考えられる場を提供していきます。
- 近隣地域にある学校などの教育機関と連携したイベントを通して、自然に関心を持つ人を増やしていきます。

